

## 令和8年度 学校経営計画書

石川県立金沢二水高等学校
校長 桶川 政江

### 1 教育目標

- (1) グローバル社会を生き抜く創造的な人材の育成
- (2) 適性の発見と進路の確立
- (3) 健康・明朗にして、人間性豊かな品格の陶冶

### 2 中・長期目標

#### (1) 学校の現状

- ① 本校は「いしかわニュースーパーハイスクール (NSH)」の指定から15年を経て、令和5年度から3年間の「STEAM教育事業推進モデル校」の指定を受け、探究活動の基盤を築いてきた。令和7年度に新たに「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)文理融合基礎枠」に指定されたことをいかし、変化の激しい社会において「正解のない課題を主体的・協働的に解決できる」資質・能力を備えた生徒の育成を目指している。
- ② 二水アクト等、ボランティア活動に積極的に取り組み、二水祭(文化祭)では生徒たちが主体的に運営にあたっており、これらの活動をとおして、他者と協働しながら主体的に課題を解決しようとする能力を育成している。
- ③ まじめで素直な生徒が多く、共感力が高く、柔軟にものごとを受容することができる。加えて、自己発信力や批判的思考力などの社会で必要とされる資質・能力を備えた人材の育成を目指している。

#### (2) 生徒に関する中・長期目標

- ① 自分で考え、自分で判断し、自分の理想とする未来を切り拓く力をつける。
- ② 失敗をおそれず、主体的・積極的にものごとくにチャレンジできるたくましい生徒を育成する。
- ③ 課題を解決する意欲と能力、豊かなコミュニケーション力を身に付けた生徒を育成する。
- ④ 豊かな心と健全な身体の保持増進を図り、安全を意識して行動するとともに、リーダーにふさわしい総合的人間力を備えた生徒を育成する。

#### (3) 教職員、学校組織の望ましいありかた

- ① 専門職としての高い知識・技能を有し、今日的な課題を見据えた上で、常に自己研鑽に努める。
- ② 学校長の経営方針を理解し、常に改革意識を持って業務の効率化を図り、教職員が互いに尊重し合い、組織的・協働的に学校運営に参画する。
- ③ 危機管理意識を高め、生徒の安心・安全に配慮した学校づくりを推進する。

### 3 今年度の重点目標

- (1) 幅広い教養、コミュニケーション力、情報活用力、他者と協働する力など、グローバル社会で求められる資質・能力を育成する。
- (2) SSH指定校としての取り組みを進めるとともに、教科等横断的な学び・探究型学習の推進を図ることにより、創造的思考力を育む。
- (3) 生徒の進路意識の成熟を促し、自ら選んだ目標に向かって主体的に取り組む生徒を育成する。
- (4) 人間形成に主眼をおいた生徒指導を行うとともに、学校が生徒にとって安心・安全な場所となるよう配慮し、学校行事・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等様々な教育活動をとおして自分とは異なる他者の意見や考え方を理解する能力を育成する。
- (5) 業務の効率化を進め、高い専門性と広い見識に基づいた協働的な教育活動を追求する。
- (6) 防災への備えを高めるとともに、大規模災害を想定した危機管理体制の整備を図る。